授業における「課題分析」表（例）

課題例：調理をしよう

児童生徒の行動	指示	具体的な指示	指示回数	活動回数
調理室へ行く。	②	スケジュールカード	1	1
手を洗う。	—	なし	0	1
椅子に座る。	①	言葉掛け	2	1
始まりの挨拶をする。	①	言葉掛け	1	1
2曲の歌を歌う。	①	言葉掛け，演奏	1	2
手順表を見る。	②	手順表，実物	1	1
材料を確認する。	②	写真カード，実物	4	2
道具（計量器）を取りに行く。	③	手順表，指差し	2	1
粉の量を量る。	—	なし	0	3
粉をボウルに入れる。	②	手順表	1	1
粉を混ぜる。	③	ジェスチャー	1	1

児童生徒の実態によっては、「粉を混ぜる」ことを，次のように，さらに詳細に分けることが適切な場合がある。

「泡だて器を取る。」
 「泡だて器を握る。」
 「だ円を描くように回す。」 など

※ 「指示」は，次の四つで整理する。（例）

① 言葉掛け
② 写真・絵・実物などの提示
③ 指差し，モデル提示，ジェスチャー
④ 身体的な補助 |
|--|

※ 「活動回数」は，指導者が行った「指示」に対して，（ ）秒以内に児童生徒が正しく活動できた場合にカウントする。

※ 具体的な「指示」がないのに児童生徒が活動した場合は，指示「—」，指示回数「0回」，活動回数「（ ）回」とする。